

岡山県教育委員会 殿

岡山県立興陽高等学校長
中野 功

令和7年度 岡山県立興陽高等学校 学校評価書

1 自己評価

I 評価結果(別紙参照)

II 分析・改善方策

- ・総務課: 生徒主体の広報活動により、特別入試・一般入試ともに志願者数目標を達成した。
- ・教務課: 成績不振者は8.4%で目標を達成した。次年度入学生から「総合的な探究の時間」をさらに進化させる計画である。
- ・生徒指導課: 生徒会活動が活発で、行事は笑顔溢れるものになった。地域ボランティア等を通じて問題解決能力も向上している。
- ・進路指導課: 面接練習の回数を増やした結果、就職内定率は昨年度を5%上回る93%となり、一定の成果が得られた。
- ・厚生課: 避難訓練が全校で実施できなかったため一部「B」評価であるが、震度4の地震や津波への対応について、地域と連携した具体的な検討を進めている。
- ・情報課: 1人1台端末の活用は「当たり前」の段階に達した。今後は生成AIの公務活用などを通じ、教員の負担軽減と生徒への還元を図る。
- ・農業課: 専門教育を通じて挨拶やマナーは定着したが、忘れ物ゼロの徹底が今後の課題である。地域貢献活動は年間50回以上に達した。
- ・家庭課: 地域貢献活動に延べ287名が参加した。今後は事後の振り返り指導をさらに重視する。

2 学校関係者評価委員名

青江 勇二 (イカサ緑地(株) 代表取締役)	今井 伸 (藤田神社宮司)
上野 晃裕 (株 かがやきプランニング副社長)	小上 進 ((有) 小上工務店 会長)
岡 秀雄 (玉野市公園緑化協会事務局次長)	川崎美代子 (岡山市立六区保育園長)
山本 真弓 (本校PTA会長)	国定 豪 (本校同窓会副会長)
妹尾 健二 (藤田地区民生委員児童委員協議会長)	藤井 隆 (岡山市立藤田公民館長)
宮本 晋一 (岡山市立藤田中学校長)	山下宗一郎 (おかやま丸の内法律事務所 弁護士)
吉田 英樹 ((株) トンボ 岡山営業所 所長)	中野 功 (岡山県立興陽高等学校長)

教員が保守的にならず、新しいことに挑戦する姿勢が生徒の自己決定能力を育てている。連携活動が増える中、土日勤務の負担などを考慮したスクラップ・アンド・ビルドが必要である。家庭学科については、産業界等との更なる連携に向けて、これまでの活動に企業評価を導入したり、マーケティングの視点を加味したりするなどしていく工夫が考えられる。新設学科だけにとどまらない学校全体での生徒募集への取組により志願者数が目標を上回った。また、地域や産業界と連携した教育活動が年々進化しており素晴らしい。

4 来年度の重点取組(学校評価を踏まえた今後の方向性)

- ・地域・産業界、学科間の更なる連携の推進
農業学科×家庭学科×産業界による取組(興樂園プロジェクト、綿花プロジェクト等)
- ・探究活動の深化
地域・産業界との連携より、専門学科での学びを地域課題の解決に昇華させる取組
- ・専門学科の学びの更なる魅力発信